

森林資源モニタリング調査表(天然林)

(調査プロットID)

(市町村名)

(林班・小班)

(地域名)

1	様式1-1	調 査 プ ロ ッ ト 到 達 経 路 情 報	葉
2	様式1-2	調 査 プ ロ ッ ト 到 達 経 路 情 報 (地 図)	葉
3	様式1-3	調 査 プ ロ ッ ト 到 達 経 路 情 報 (写 真)	葉
4	様式2-1	調 査 プ ロ ッ ト 情 報	葉
5	様式2-2	調 査 プ ロ ッ ト 情 報 (見 取 り 図)	葉
6	様式2-3	調 査 プ ロ ッ ト 情 報 (原 点 写 真)	葉
7	様式2-4	調 査 プ ロ ッ ト 情 報 (プ ロ ッ ト 内 側 写 真)	葉
8	様式3-1	立 木 調 査 表	葉
9	様式3-2	立 木 調 査 総 括 表	葉
10	様式4	更 新 木 調 査 表	葉
11	様式5	下 層 植 生 及 び 土 壌 侵 食 調 査 表	葉
12	様式6	資 料 調 査 表	葉

調査プロットID		調査年月日	
現地調査実施者	所属	氏名	

1 到達目標

座 標 位 置 (世界測地系) (前回調査野帳から 書き写し)	北緯	度	分	秒	(60進法で記入)
	東経	度	分	秒	(60進法で記入)
	本調査では予備調査時又は前回調査時の原点杭の座標値				

2 到達情報

GPS機種				
-------	--	--	--	--

経 路	車道名 ・ 地番など	座標 (世界測地系)/GPS補正機能				写真 番号
		N: 度 分 秒	E: 度 分 秒			
		なし MSAS	平均化	後補正		
		N: 度 分 秒	E: 度 分 秒			
		なし MSAS	平均化	後補正		
		N: 度 分 秒	E: 度 分 秒			
		なし MSAS	平均化	後補正		
		N: 度 分 秒	E: 度 分 秒			
		なし MSAS	平均化	後補正		
		N: 度 分 秒	E: 度 分 秒			
		なし MSAS	平均化	後補正		
		N: 度 分 秒	E: 度 分 秒			
		なし MSAS	平均化	後補正		
		N: 度 分 秒	E: 度 分 秒			
		なし MSAS	平均化	後補正		

GPSの補正機能は、実際に使用した機能を選ぶ（ビーコンを受信する機能があっても、計測時に受信できなかった場合は選ばない）。複数の機能を組み合わせることが望ましく、使用した全ての機能を記入する。

3 調査プロットの基本情報

原点杭位置座標 (世界測地系)	到達不可能または非森林の場合は記入しない			
	N: 度 分 秒	E: 度 分 秒		
	なし MSAS	平均化	後補正	
プロット設定箇所	指定座標に準ずる			
	指定座標から変更	形状	地形	植生 その他 ()
調査の実施可否	可	新規プロット設定 継続調査 再設定		
	不可	非森林 人工林 無立木地 (状況写真を撮影)		
		到達不可能 (下記に理由を記載、状況写真を撮影)		
		a : 調査プロットが地形的に通常的手段で到達できない所に所在 (詳細を記載) b : 法的規制による立ち入り禁止 (詳細を記載) c : 現状で到達不可能だが、今後の再確認が必要 (詳細を記載) d : 一時的に到達経路等が不通または危険な状況が発生 (詳細を記載) e : その他 (詳細を記載) x : 所有者の了解が得られない (詳細を記載)		
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; min-height: 100px;"> <p>詳細内容</p> </div>		

様式1-2 調査プロット到達経路情報（地図）

調査プロットID	調査年月日

詳細図

- ※ 1/5,000程度の縮尺の地図を使用
- ※ 調査プロットへの到達の目標となる地物や経路を記入し、適宜、GPSの座標位置や写真番号等を添える。（次回調査時に使用するので、詳細に記入する。）

概略図

- ※ 調査プロットへの位置と経路を着色等により示す。また、写真番号や必要に応じてGPSの座標値等を記入する。

調査プロットID	調査年月日

写真番号：



写真番号：



写真番号：



調査プロットID		調査年月日	
----------	--	-------	--

1 地形概況

斜面方位			斜面傾斜	上方 度	度
局所地形	平坦尾根	やせ尾根	山腹凸斜面	山腹凹斜面	山腹平衡斜面
	山脚侵蝕面	山脚堆積面	その他（ ）		

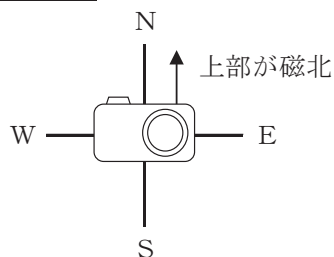
※斜面方位は斜面下方の方位を8方位で記載

※その他を選んだ場合は、（ ）内に局所地形を記載すること

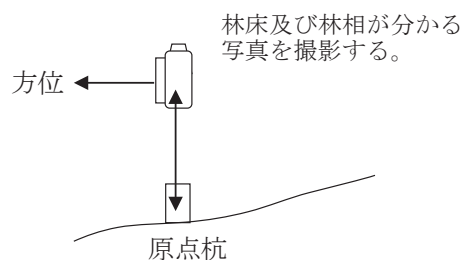
2 写真撮影確認（原点）

天頂	磁北	磁東	磁南	磁西

天頂写真



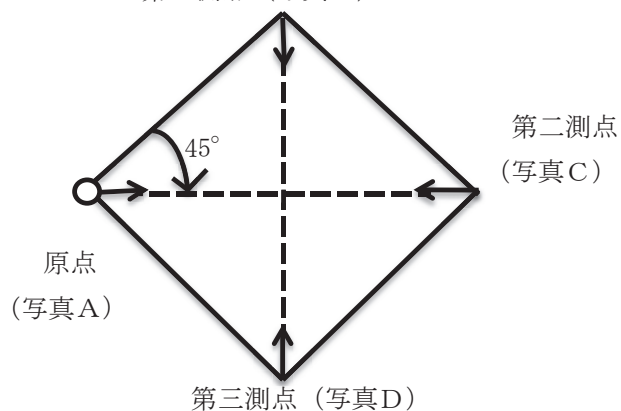
4 方位写真



3 写真撮影確認（プロット内側写真）

原 点	第一側点	第二側点	第三側点

第一側点（写真B）

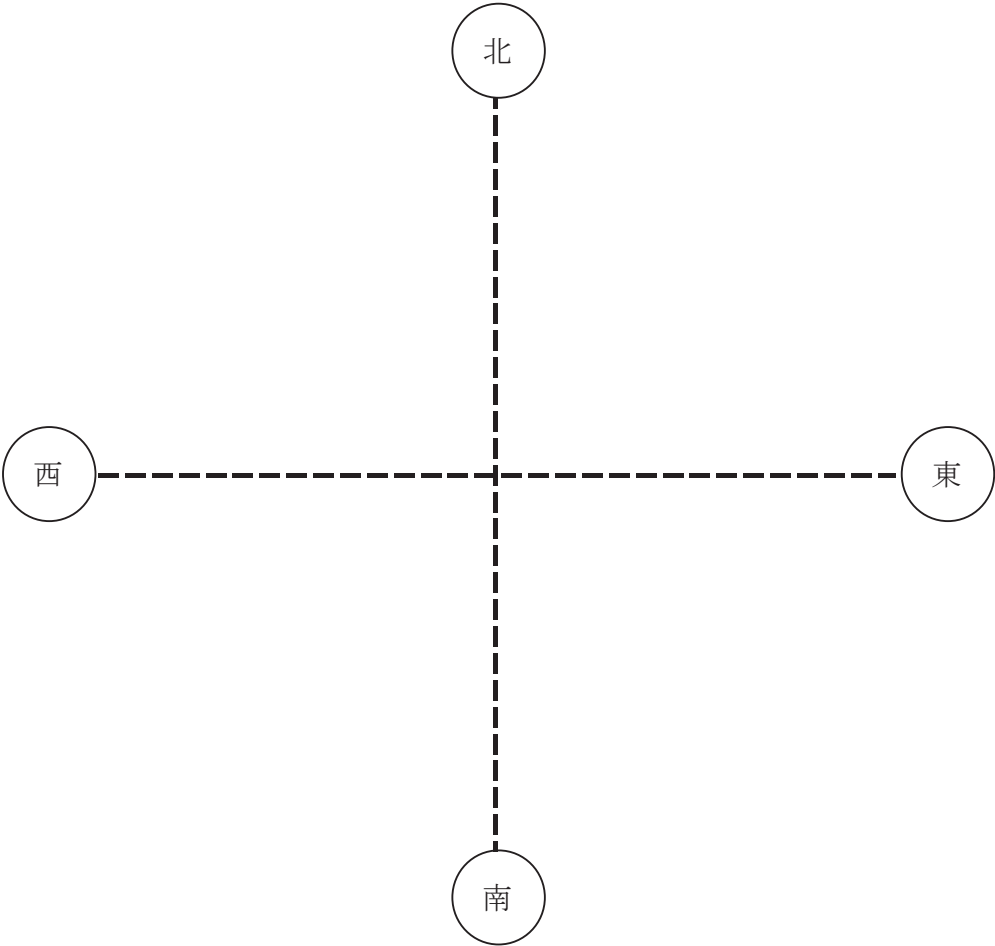


4 立木密度判定

立 木 密 度	1,500本/ha未満	・	1,500本/ha以上
---------	-------------	---	-------------

調査プロット I D	調査年月日

1 調査プロット見取り図



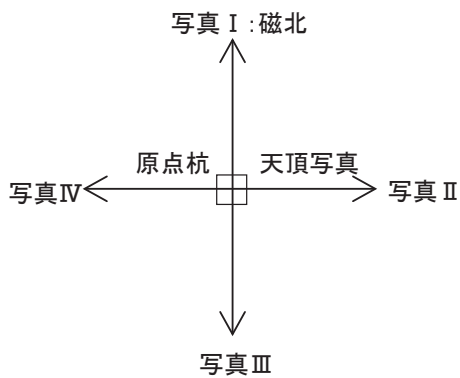
2 調査プロット概況

調査プロットサイズ	30m×33m	20m×25m
原点から第一測点への方位角	度	
原点杭位置座標 (世界測地系)	N : 度 分 秒	E : 度 分 秒

3 調査プロットの原点と各測点の位置関係

	原点からの方角 (16方位)	最寄りの立木のナンバーテープ番号 頂点から5m以上離れている場合は()を付す
原点		
第一測点		
第二測点		
第三測点		

調査プロット I D	調査年月日



- ※ 原点杭位置で磁北側を写真の上側となるよう天頂を撮影し、以下の貼付欄へ貼り付ける。
- ※ 原点を中心として東西南北方向に各 1 枚撮影し、以下の貼付欄に貼り付ける。
- ※ 方位については、全てコンパスによる測定で確認する。
- ※ 撮影方向が手前の幹などで遮られる場合、避けて撮影する。

【原点天頂写真】
・天頂方向に撮影

写真貼付
(原点天頂写真)

【原点写真Ⅰ】
・磁北方向に撮影

写真貼付
(原点写真Ⅰ)

調査プロットID	調査年月日

【原点写真Ⅱ】

・磁東方向に撮影

写真貼付
(原点写真Ⅱ)

【原点写真Ⅲ】

・磁南方向に撮影

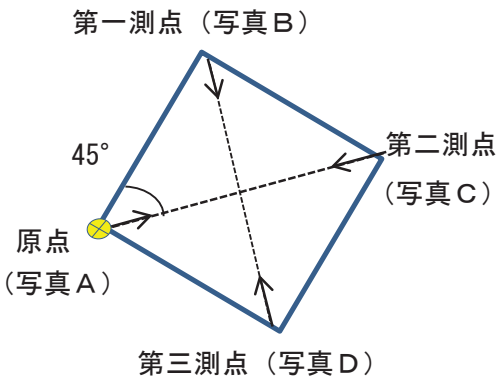
写真貼付
(原点写真Ⅲ)

【原点写真Ⅳ】

・磁西方向に撮影

写真貼付
(原点写真Ⅳ)

調査プロット I D	調査年月日



- ※ 原点及び各測点（周囲杭）からそれぞれの対角方向を撮影し、以下の貼付欄へ貼り付ける。
- ※ 対角方向が目視で確認できない場合はコンパスなどにより次の測点方向から概ね45° 内側方向を撮影する。
- ※ 撮影方向が手前の幹などでさえぎられる場合は、避けて撮影する。

【プロット内側写真A】

- ・ 原点から対角（第二測点方向）を撮影

写真貼付
(プロット内側写真A)

【プロット内側写真B】

- ・ 第一測点から対角（第三測点方向）を撮影

写真貼付
(プロット内側写真B)

調査プロット I D	調査年月日

【プロット内側写真 C】

- ・ 第二測点から対角
（原点方向）を撮影

写真貼付
（プロット内側写真 C）

【プロット内側写真 D】

- ・ 第三測点から対角
（第一測点方向）を
撮影

写真貼付
（プロット内側写真 D）

調査プロットID	調査年月日	担 当 者

※小プロット、中プロットでは胸高直径1cm以上、大プロットでは胸高直径6cm以上の、全ての中高木性木本類を対象とする。

なお、ナンバーテープは胸高直径6cm以上のものに付す。

※★マークのついている項目は、胸高直径24cm以上のダケカンバのみ記入する。

[illegible]

※★マークのついている項目は、胸高直径24cm以上のダケカンバのみ記入する。

[illegible]

※★マークのついている項目は、胸高直径24cm以上のダケカンバのみ記入する。

[illegible]

調査プロット I D	調査年月日

1 林分構成（現地確認）

調査 プロ ット	優占樹種						
	林分発達段階	天然更新(施業あり)		天然更新(施業なし)		人工更新(植え込み等)	
		若齢		成熟		老齢	
	初期	林冠強度閉鎖、 下層植生乏しい	樹冠に隙間、草 本層・低木層発 達	階層構造、 ギャップ、大径 枯損・倒木	強度間伐、中～大規 模被害など		
	植被率	高木層		%	亜高木層		%
	施業形跡 (5年以内)	なし 植え込み	伐根 人工播種	伐倒木 かき起こし	末木枝条 その他 (枝打痕)	下刈跡)

2 プロットに関する特記事項（複数回答）

被害情報	病虫害	なし ナラ枯損 カイガラムシ その他 (
------	-----	--	--	--	--	--	--

更新木調査表

- ※ 小プロット内の樹高30cm以上、胸高直径1cm未満の全ての中高木性木本類を対象とする。
- ※ ナンバーテープは付さない。
- ※ エゾシカ被害の樹皮はざ、角こすりの「新」は直近の積雪期以降に被害を受けたもの（暗く変色していないもの）を対象とする。

[illegible]

調査プロット I D	調査年月日	担 当 者

1 下層植生調査

下 層 植 生	植 被 率	低木層	%	草本層	%
	優 占 種	種 名		占有率	
	優占種 1				%
	優占種 2				%
	優占種 3				%

※ 植 被 率：低木層及び草本層における維管束植物（高木性の稚樹及び幼樹、ササ類を含む）が土壌面を被覆する割合を、目視により、10%単位で記載する。

※ 優 占 種：ササ類を含む草本層の中で、植被面積が大きい種から上位3種類までを優占種として種名を記入するとともに、それぞれの占有率を、目視により、10%単位で記載する。

2 ササ類調査

サ サ 類 調 査	ササの量	密生	疎生または散在	ない
	ササの種類	ミヤコザサ	スズタケ	クマイザサ チシマザサ
	ササの高さ	50cm未満	50～150cm	150cm以上
	ササの食痕	多い（意識しなくても目につく）		わずかにある（探さないと見つからない）
		ほとんどない	全くない	

※ ササがない場合は「ササの種類」以下は記載不要。

3 土壌侵食痕

土 壌 侵 食	地 表 状 態	林床被覆率	%	巨礫・岩率	%
	土壌侵食痕	なし	土柱	リル	ガリー

巨礫・岩率：大きさ20cm以上の礫あるいは岩が地表に占める面積割合（20cmの大きさは、地表に見えている面の短径で判定する。）

土壌侵食痕：プロット内に出現するものをチェックする。重複選択可。

調査プロット I D	資料調査年月日	担当者

1 調査プロットに関する情報

標 高	m	車道からの距離	m
表層地質	(出典：「表層地質図平面的分類図、(財)日本地図センター」)		土壌型分類
			(出典：「土壌図、(財)日本地図センター」)

2 森林調査簿情報

林 小 班		林班		小班		
地 籍 名		北海道				
森林法上の区分		5 条森林(地域森林計画対象)		7 条の 2 森林(国有林森林計画対象)		
土地所有者区分	計画対象外森林					
	林野庁	防衛省	環境省	財務省	その他国有林（	
	都道府県	市町村	その他公共団体	財産区	森林組合	森林農地整備センター
	会社	学校	社寺	入会林野	部落有	共有
	その他団体	個人	その他民有林	国立大学法人	その他独立行政法人	
	土地所有者と異なる国、自治体、公社、森林農地整備センターが管理を行う場合					
	その名称（					
法令による地域指定の種類		なし	あり	〔名称		
伐採方法の指定		なし	あり〔	皆伐	択伐(複層伐、漸伐を含む)	禁伐
林 種		人工林	天然林	伐採跡地	未立木地	竹林
		その他（				
施業方法（現況）		育成単層林	育成複層林	天然生林		
樹 種						
林 齢		年				
公益的機能別施業森林等の森林の区域（森林の区分）		1. 水源涵養林				
		2. 山地災害防止林				
		3. 生活環境保全林				
		4. 保健・文化機能等維持林				
		5. 木材等生産林				
		A. 水資源保全ゾーン				
		B. 生物多様性ゾーン（水辺林）				
		C. 生物多様性ゾーン（保護地域）				
		D. 特に効率的な施業が可能な森林				
施 業 履 歴		択伐(複層伐、漸伐を含む)			間伐	年
		除伐	下刈	枝打	その他（	
(過去 5 年間)		択伐(複層伐、漸伐を含む)			間伐	年
		除伐	下刈	枝打	その他（	